戦　　評

大会名　　第25回岩手県バレーボール６人制総合選手権大会

男子

岡崎建設Owls	2	25 — 16 25 — 17		2	不来方高等学校

試合時間　　0 時間　41　分

主 審　　大山 幸司

副 審　　千田 哲也

戦　　評

３年連続で同一カードとなった決勝戦。不来方高等学校が下平（№6）や伊藤（№1）のスパイクで序盤リードするも、岡崎建設Owlsは川村（№15）の軟硬織り混ぜたスパイクや、橋本（№6）の切れの良い速攻で確実に得点を重ねた。最後は交代で入った外崎（№4）のサービスエースで１セット目を先取した。

2セット目も岡崎建設Owlsは藤原（№9）の強打やブロック、川村（№15）の相手ブロックをかわすスパイク等で得点を重ねる。対する不来方高等学校は、伊藤（№1）と及川（№3）の高いブロックを恐れぬ強打で反撃を試みるも、序盤以降連続得点を挙げることができず岡崎建設Owlsが勝利した。

（岡崎建設Owls　７年連続９回目優勝）

※　７～１０行にまとめること。

戦評者　　手島　瑞夫

岩手県バレーボール協会

戦　　評

大会名　　第25回岩手県バレーボール６人制総合選手権大会

女子

盛岡誠桜高等学校	2	25 — 18 25 — 21	0	盛岡第二高等学校

試合時間　　0 時間　44　分

主 審　　塩井 和幸

副 審　　浅利 達也

戦　　評

女子決勝戦は１４年ぶり４回目の優勝を目指す盛岡誠桜高等学校と、初の決勝進出となった盛岡第二高等学校の対戦となった。

第１セット盛岡誠桜高等学校川村（№4）や本郷（№9）らの攻撃が決まり得点を重ねこのセットを先取する。

第２セット、対する盛岡第二高等学校田山（№2）や小倉（№3）のスパイクと、佐々木（№4)のサーブで追い上げをはかるも、盛岡誠桜高等学校の鎌田（№3）のブロックや大久保（№2）らの安定したレシーブから攻撃へとつなぎ勝利した。

（盛岡誠桜高等学校　１４年ぶり４回目優勝）

※　７～１０行にまとめること。

戦評者　　立野　嵩陽

岩手県バレーボール協会